

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	公共 I
科目基礎情報					
科目番号	0016	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科 (一般科目)	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	『詳述 公共』、実教出版				
担当教員	多田 光宏				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。 ・ 諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきかと考えられてきたかについて理解できる。 ・ 諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。 ・ 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。 ・ 現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。 ・ 社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
・ 哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて、優れた理解ができている。	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて、十分に理解できている。	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて、基礎的な理解ができていない。		
・ 諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきかと考えられてきたかについて理解できる。	諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきかと考えられてきたかについて、優れた理解ができている。	諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきかと考えられてきたかについて、十分に理解できている。	諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきかと考えられてきたかについて、基礎的な理解ができていない。		
・ 諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。	諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方について、優れた理解ができている。	諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方について、十分に理解できている。	諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方について、基礎的な理解ができていない。		
・ 文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さについて、優れた理解ができている。	文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さについて、十分に理解できている。	文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さについて、基礎的な理解ができていない。		
・ 現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について、優れた理解ができている。	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について、十分に理解できている。	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について、基礎的な理解ができていない。		
・ 社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方について、優れた理解ができている。	社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方について、十分に理解できている。	社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方について、基礎的な理解ができていない。		
分野横断的能力	自身が興味をもった対象について、優れた論述を展開することができる。	自身が興味をもった対象について、読者に理解可能な論述を展開することができる。	自身が興味をもった対象について、読者に理解可能な論述を展開することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
I 人間性 1 I 人間性 II 実践性 2 II 実践性 III 国際性 3 III 国際性					
教育方法等					
概要	・ 人文・社会科学的な視点から人間、社会、文化について多面的に理解し、国際社会の一員として社会的諸問題の解決に向けて主体的に貢献する自覚と素養を培う。 ・ 人間活動や科学技術の役割と影響に関心を持ち、幸福とは何かを追究しながら、技術者として社会に貢献する自覚と素養を培う。				
授業の進め方・方法	検定教科書に沿って、公共の倫理分野における思想史を紹介する形式で進める。また、プリントを配布するので、しっかりと読んで、内容をよく整理すること。				
注意点	倫理学は、本来、答えが明確になっていない諸々の問題について、自分で考える学問である。それ故に、紹介された思想を丸暗記することではなく、理解し、その上で疑問を抱き、それを手掛かりに、自分で考える時間を持つことが求められる。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	第1章 社会を作る私たち 人間とは何か 1. 生涯における青年期の意義	倫理社会の間の性質を理解できる。	
		2週	2. 青年期と自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 4. 現代社会と青年の生き方	倫理社会の間の性質を理解できる。	
		3週	第2章 人間としてよく生きる 幸福とは何か 1-1. ギリシアの思想 (1)	古代のギリシア思想基本的な内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
		4週	1-2. ギリシアの思想 (2)	古代のギリシア思想基本的な内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
		5週	1-3. ギリシアの思想 (3)	古代のギリシア思想基本的な内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
		6週	1-4. ギリシアの思想 (4)	古代のギリシア思想基本的な内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	

後期	2ndQ	7週	1-5. ギリシアの思想 (5)	古代のギリシア思想基本的な内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		8週	1-6. ギリシアの思想 (6)	古代のギリシア思想基本的な内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		9週	達成度試験 (1)	上記項目について、60点以上を獲得すること。
		10週	2-1. 宗教の教え (1)	諸宗教の基本用語や思想の基本的な内容について理解できる。
		11週	2-2. 宗教の教え (2)	諸宗教の基本用語や思想の基本的な内容について理解できる。
		12週	2-3. 宗教の教え (3)	諸宗教の基本用語や思想の基本的な内容について理解できる。
		13週	2-4. 宗教の教え (4)	諸宗教の基本用語や思想の基本的な内容について理解できる。
		14週	2-4. 宗教の教え (5)	諸宗教の基本用語や思想の基本的な内容について理解できる。
	15週	2-5. 宗教の教え (6)	諸宗教の基本用語や思想の基本的な内容について理解できる。	
	16週	前期定期試験	上記項目について、60点以上を獲得すること。	
	3rdQ	1週	3-1. 人間の尊重 (1)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		2週	3-2. 人間の尊重 (2)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		3週	3-3. 人間の尊重 (3)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		4週	3-4. 人間の尊重 (4)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		5週	4-1. 人間の自由と尊厳 (1)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
		6週	4-2. 人間の自由と尊厳 (2)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。
7週		4-3. 人間の自由と尊厳 (3)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
8週		4-4. 人間の自由と尊厳 (4)	近代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
4thQ	9週	達成度試験 (2)	上記項目について、60点以上を獲得すること。	
	10週	5-1. 個人と社会 (1)	現代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
	11週	5-2. 個人と社会 (2)	現代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
	12週	6-1. 主体性の確立 (1)	現代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
	13週	6-2. 主体性の確立 (2)	現代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
	14週	7. 他者の尊重	現代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
	15週	8. 公正な社会	現代の思想の基本用語や内容について、また、「考える」ことの重要性について理解できる。	
	16週	後期定期試験	上記項目について、60点以上を獲得すること。	

モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合

	前期(中間)到達度試験	前期定期試験	後期(中間)到達度試験	後期定期試験	課題	合計
総合評価割合	20	25	20	25	10	100
基礎的能力	20	25	20	25	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0